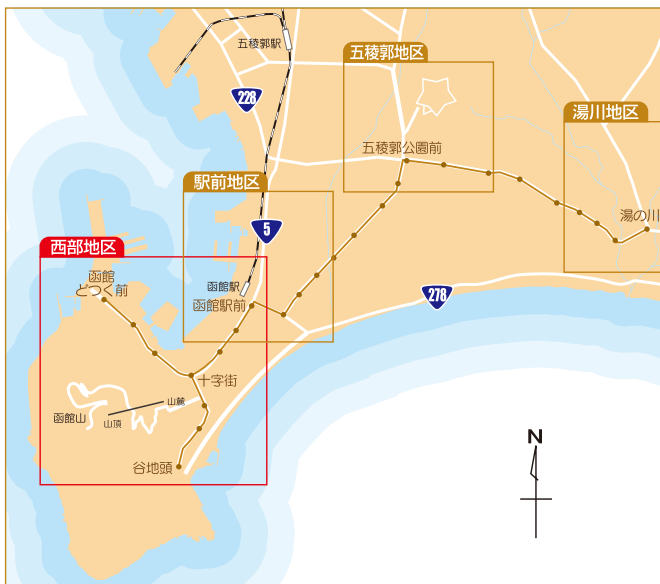


函館全体エリアマップ



西部地区



スタート地点までのアクセス

JR函館駅から1.7km(徒歩25分)
市電(函館駅前より函館どつく前行き)7分

函館 知ってる? 知ってる?

函館の坂～幸坂～

明治8年(1875)、坂下の港岸を埋め立ててできた幸町の誕生とともに、将来の幸福を祈願して「幸坂」の名称が付けられました。この坂に山上大神宮があり、神明社と呼ばれていたことから「神明坂」とも呼ばれていました。また、この坂の周辺にはムジナがいたという伝説があり、この坂にあった高龍寺が移転する際、そのムジナが荷物運びを手伝ったという話が残されています。坂の途中にある「旧ロシア領事館(HOTEL白林HAKODATE)」あたりは急勾配となっており、上ることが大変な分、他の坂とはまた異なった景色を眺めることができます。特に天気の良い日がオススメ!



函館市電路線図

湯の川～十字街間は最短6分間隔で運転しています。

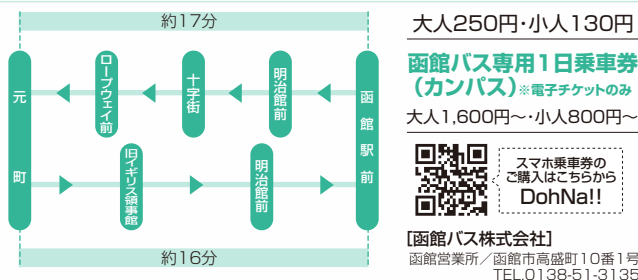
7分	5～6分	16～17分	15～16分
函館どつく前 大町 末広町 十字街 魚市場通 市役所前 函館駅前 松風町 新川町 千歳町 昭和橋 堀川町 千代台 中央橋前 杉並町 五稜郭公園前	湯の川温泉 アリーナ前 駒場車庫前 駒場馬場前 深堀町 柏木町	湯の川	
谷地頭 青柳町 宝来町	7～8分		

乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など
各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な! 市電 1日乗車券販売中! 大人800円・小人400円
お求めは車内のほか、沿線の一部ホテル、コンビニなどでどうぞ!

【函館市企業局】 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012100939/>
ケータイから各電停の時刻表も見られる!

「元町・ベイエリア周遊号」元町観光にとっても便利な循環バス(バス停は主な停留所を記載)
「元町・ベイエリア周遊号」をご利用下さい。



函館市公式 観光情報サイト「はこぶら」
<https://www.hakobura.jp/>



発行・お問合せ先



函館市観光部

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL.0138-21-3323

※2026年6月現在の情報です。使用できる施設・価格等が変更になる場合がございます。

(2026年7月発行)

ひと

6

函館 まちあるきマップ

新島襄ヒストリート

～国禁を破り命がけの渡米!新島襄を支えた函館人～

所要時間 140分 距離 4.7km 消費カロリー 420kcal

- ・新島襄ブロンズ像
- ・新島襄海外渡航碑
- ・沖之口役所跡
- ・箱館丸
- ・弁天岬台場跡
- ・東本願寺函館別院船見支院
- ・鯨族供養塔
- ・旧旅籠町界隈
(きゅうはたごちようかいわい)
- ・山上大神宮
(やまのうえだいじんぐう)
- ・函館ハリストス正教会

地域でつくる
小さな旅
優秀プログラム





新島襄 (1843~1890)

明治時代を代表する教育者。鎖国の禁を破ってでも海外見聞をしたいという強い情熱を持ち、元治元年(1864)6月14日夜、箱館大町築島の波止場から1隻の小舟で沖に出た後、湾内に停泊するアメリカ商船ベルリン号にたどり着き、密出国に成功する。後に、同志社英学校(現同志社大学)を創設。

※写真提供／函館市中央図書館

① 新島襄ブロンズ像



脱国時の新島襄の服装がわかる。

② 新島襄海外渡航碑



新島襄が脱国後、上海で作った漢詩が自筆の碑文として刻まれている。異国への夢と故郷を思う気持ちの間で揺れる心情があらわれる内容である。

③ 箱館丸



安政4年(1857)新島襄の脱国を手助けた福士卯之吉(福士成豊)とその実父統豊治が造った日本初の西洋式帆船。現在の箱館丸は昭和63年(1988)に復元されたもの。

④ 弁天岬台場跡



箱館奉行支配諸術調所教授役武田斐三郎が設計した台場跡。新島襄が箱館に来る目的の一つは、武田斐三郎のもとで学ぶことであった。※写真提供／函館市中央図書館

⑤ 旧旅籠町界隈

(きゅうはたごちようかいわい)



このあたりに、新島襄・澤辺琢磨・福士卯之吉らが、酒を酌み交わした茶屋があった。

⑥ 山上大神宮(やまのうえだいじんぐう)



新島襄の友人である澤辺琢磨(坂本龍馬の親戚)が、神職を務めた神社。

⑦ 函館ハリストス正教会



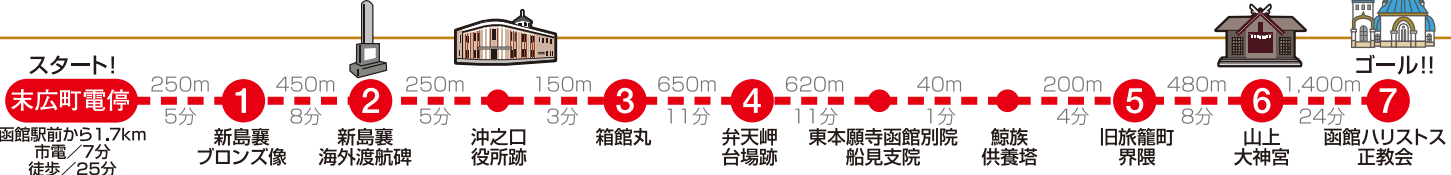
山上大神宮神職澤辺琢磨が、異教を広める司祭ニコライを叩き切ると息巻いて押しかけた教会。その後、ニコライの教えに心酔し、ニコライに日本語を教授する代償として、箱館にやってきた新島襄を司祭宿舎に下宿させた。

福士卯之吉(1838~1922)

天保9年(1838)日本初の西洋式帆船「箱館丸」を建造した船大工統豊治の子として函館に生まれる。のちに成豊(なりとよ)と改名。回船業福士長松の養子となるが、実父豊治について造船技術を学んだ後、さらなる高度技術を習得するため、イギリス人経営の商会に5年間勤務し語学を身につけた。この間に新島襄と出会い、その後の米国への脱出を支援した。

新島襄ヒストリート ~国禁を破り命がけの渡米!新島襄を支えた函館人~

所要時間 140分 距離 4.7km 消費カロリー 420kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



撮影オススメポイント!!

- 喫茶・休憩
- おみやげ売店
- 食事処
- トイレ
- 多目的トイレ
- 駐車場
- 元町・ベイエリア周遊号バス停
- バス停
- サイクルステーション

※最新の情報は各施設等であつてお問合せください。